

唐津農林事務所
東松浦農業改良普及センター
TEL(0955)73-1121
FAX(0955)74-7975

上場振興担当
TEL(0955)82-2711
FAX(0955)82-1911



<http://www.pref.saga.lg.jp/list00102.html>

まつら



ラマ カンチャさん (36歳)

★経営概況★
ミディトマト 40a
中晩柑 50a



地域を共に支える「外国人農業経営者のパイオニア」!

ラマさんは、ネパール出身で、大学進学のため10年前に来日。日本の先進的な農業技術を学んで母国の発展にも貢献したいという思いから、妻の出身地である唐津で就農を決意されました。

しかし、土地も機械もお金もないゼロからのスタート。唐津弁を勉強し、自転車唐津中を走り回って少しずつ地域に溶け込み、2年後の平成25年に就農されました。就農5年目の現在は、経営も軌道に乗り、「お客様が喜ぶ美味しいトマトを作りたい」と日々努力されています。唐津・東松浦地区4Hクラブにも加入し、クラブ活動を通じた仲間づくりや農業技術の習得、地域との交流も深められています。

一方で、日本もネパールも若い農業者が少ないことを痛感し、若い農業者が自立した経営を行えるよう支援したいと、少ない経費でも成り立つ農業のシステム作りに取り組まれています。さらに、若者に農業の魅力を伝えるため、SNSやテレビ・ラジオの取材を通して自らの経験や想いを発信されています。

その熱い想いや取り組みについて、昨年7月18、19日に佐賀市で開催された九州・沖縄地区青年農業者会議「意見発表の部」で佐賀県代表として発表され、見事最優秀賞の九州農政局長賞を受賞。今年2月に東京都で開催される全国大会へ九州代表として出場されます。

「将来は、世界の仲間達とともに、どこでも誰でも農業ができる未来を作りたい」と話すラマさん。これからの農業をともに担う外国人農業経営者のパイオニアとして、今後益々の活躍が期待されます。



第46回佐賀農業賞 受賞おめでとうございます



先進的農業経営者の部

最優秀賞及び農林水産大臣賞

加茂達也・和枝氏

唐津市浜玉町の加茂達也、和枝夫妻が最優秀賞ならびに農林水産大臣賞を受賞されました。加茂夫妻はハウスみかんやハウス中晩柑、露地みかんを経営されており、周年出荷体制の確立による高収益経営やJAからつ果樹部会長を務めるなど産地振興と地域への貢献が高く評価されました。



ハウスみかん	上野早生	36a
	宮川早生	40a
屋根掛け栽培	上野早生	15a
	宮川早生	15a
露地みかん (根域制限栽培)	上野早生	7a
	宮川早生	5a
ハウス中晩柑	天草	15a
	麗紅	33a
	清見	12a
	みはや	10a
	佐賀果試35号	14a

現在は令和3年予定の市場デビューに向けて、普及センター等の県機関と一体となって高品質栽培技術の確立に尽力されています。地域貢献ではハウスみかん部会長などを歴任された後、本年度竣工したJAからつカンキツ選果場の再編副委員長や初代果樹部会長を務められています。特に選果場再編に当たっては2年間におよぶ事前協議の中で意見集約に尽力されました。長男の琢磨氏が大学卒業後に就農されており、今後も産地を支える中核農家として活躍が期待されます。

地域農業活性化の部

最優秀賞及び農林水産大臣賞

平田志緒梨氏

唐津市和多田の平田志緒梨さんはカーネーション専作農家に婚姻就農され、仕事と育児を両立しながら、加工部門の責任者を務められています。女性の感性を活かした加工品づくりに取り組み農業経営を発展させたこと、自身の経験を活かし、子育て世代にも働きやすい職場づくりを推進されたことが高く評価されました。



義父の還暦祝いとして生花を加工したアクセサリーを作成したことをきっかけに加工部門を設立。責任者となり、平成29年に法人化した際、取締役になられました。加工部門を創設したことにより、農閑期である夏場の仕事ができ、安定した年間雇用ができるようになり、パートを始め正社員の雇用など地域の雇用創出に貢献されています。

また、自身の経験を活かし、フレキシブルな勤務体系やLINEグループでのシフト変更の情報共有など、地域の見本となるような働きやすい職場づくりを進められています。

昨年設立した花を生産している若手女性農業者のグループ「唐津花女子」では、視察や研修会を企画され、地域の仲間と交流を図りつつ、新たな加工品の研究に努められています。

今後は仲間とともに地域で輝く若手女性農業者の中心として、益々の活躍が期待されます。

若い農業経営者の部

優秀賞

小松大作・かおり氏

唐津市厳木町の小松大作・かおり夫妻は、県内最大規模のトルコギキョウ栽培を行い、雇用創出や耕作放棄地への新規品目の導入により地域活性化に貢献されていること、女性が働きやすい職場づくりに力を注がれていることが高く評価されました。



家族経営の限界を痛感する中、他業種経営者からの刺激を受けたことで「農業も人に任せられることができる」と考え方が変わって以来、雇用の確保や人材育成を重視されています。スタッフに仕事を全体的に覚えてもらいスケジュールを共有することで、個人の都合に合わせて働く日や時間を定める体制を整備されています。

妻のかおりさんを中心に6次化部門にも着手され、体験イベントやInstagramで情報発信するなど販路拡大にも繋げられています。

また、耕作放棄地でのユウカリ栽培による中山間地域農業の維持活動に加え、市内の農業者・自営業者で組織する「唐津アグリ旬」として、消費者へ農業の魅力を発信するほか、佐賀県青年農業士としても活動されるなど、地域における信頼が厚く、今後も地域をリードしていく存在として期待されています。

～「佐賀果試35号」令和3年デビューに向けて導入進む～



唐津地区では平成29年から「佐賀果試35号」の導入が行われており、現在399aのハウスに苗木が定植されています。令和3年3月には面積700a、生産農家44戸に拡大する予定であり、同時に3ヶ所のハウスでは初結実・初出荷を迎えます。JAからつでは研究会が発足し産地化に向けての準備が本格化しています。普及センターでは関係機関との連携のもと、早期成園化や貯蔵技術確立に向けた支援により「唐津ブランド」確立に向けて活動を行っています。

令和元年度 県重点プロジェクトの取組状況

所得向上支援プロ

■魅力ある農業経営を実現するための 農業所得UP作戦 (H30~R2年)

- 当プロジェクトでは、いちご・ハウスみかん・花き・畜産の4品目について、今後地域のトップリーダーとしての活躍が期待される8名の農業経営者へ農業所得の向上を目的に支援を実施しています。

【今年度の取組状況】

- 「いちごさん」への品種転換における収量増加への支援
- ハウスみかんにおける園地ごとの収益性分析や改善支援
- 花き栽培で減収要因となっている土壌伝染病の改善
- 繁殖経営の将来像計画（シミュレーション作成）
- 稼げる農業経営のための経営戦略研修会の開催



経営戦略研修会の様子

新規就農者確保・育成プロ

■次代を担う新規就農者・若手女性農業者を 確保・育成するしくみづくり (H30~R4年)

【今年度の取組状況】

- 新規就農者数40名（新規学卒8名、Uターン11名、新規参入15名、婚姻就農6名）
- 新規就農者激励会、経営確立研修会（基礎講座）の開催
- 唐津南高校を対象に、農業士と連携し「魅力あふれる唐津・東松浦農業見学会」の開催
- JAアスパラ部会での新規者研修会の開催など新規就農者への支援の充実
- 若手女性農業者交流会の実施、新たな若手女性グループ「ジョリーポケット」の結成支援



新規就農者激励会



新規就農者基礎講座



魅力あふれる農業見学会

中山間地域農業・農村振興プロ

■中山間地域で農地の受け皿となる集落営農の組織強化と 組織間・広域連携の推進 (H30~R4年)

【今年度の取組状況】

- 農地の今後の意向についてwebの地図上で見える化し、集落みんなで危機感を共有
- 農作業の共同化に向けた集落での話し合い
- 新規品目導入検討（キクイモ、佐賀黒7号（枝豆））
- 支援する関係機関で広域連携取組推進の先進県（山口県）へ事例調査



集落検討会（地図見える化）



新規品目検討（キクイモ）



広域連携視察（山口県）